

公益財団法人 全国学校農場協会 事業報告

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

公益財団法人 全国学校農場協会

## <概要>

平成25年3月21日付で内閣府の認定を受け、公益財団法人全国学校農場協会に移行して2年を経過した。平成26年5月16日に第1回理事会を開催し、25年度の事業報告書の件、収支決算書の件について承認された。農業教育（農業技術）の発展と振興を図る事業（公1）として以下を行った。全国大会・支部大会での農業教諭による研究発表及び各界のリーダーをお招きしての講演会（古在豊樹先生・千葉大学名誉教授他）を開催した。また農業教育研究協議会では農業教育に関する調査・研究の成果の発表及び尚美学園大学理事長・松田義幸先生の講演をいただいた。

農業教育功労者表彰は全国142名の方に授与された。シンポジウムについては大学・各種団体の協力を得て、主催・共催・講演を含め4回開催した。学術・科学技術の振興を図る事業として全国7地区で農業実験実習講習会を実施した。この講習は教員免許状更新講習の選択領域を文科省から認定されており142名の参加を数えた。農村文化・芸術・文芸に関する事業では、日本農民文学会との共催による全国農業関係高等学校エッセイコンテストを実施したところ全国から多くの応募があり北海道の生徒が最優秀に輝いた、原稿はホームページ上に掲載した。また、里山音楽祭を埼玉で開催し、農業と芸術との近い関係について多くの方々に知っていただく機会となった。

認定2年目になるが事業計画書に予定された事業について多くの関係者の協力によって概ね実施できた。反省点・改良すべき点などを踏まえ、次年度に生かして行きたい。

公益財団法人全国学校農場協会の事業に関する報告や成果については平成27年3月発行の**第52号研究集録**内に詳しく掲載されている。

## I 会員の動き

### 1) 協賛会員の状況（平成27年3月31日現在）

地区別協賛会員数

北海道地区	398名	
東北地区	899名	
関東地区	1554名	
北信越地区	497名	
近東地区	1119名	
中国地区	554名	
四国地区	391名	
九州地区	1339名	
本部個人会員	22名	総数6773名

## II 各種事業活動の実施報告

### <農業教育（農業技術）の発展と振興を図る事業（公1事業）>

#### 1) 研究発表及び教育行政・農政・学術・学際的講演による農業教育を推進する事業

\*原則一般公開、開催・内容については本協会ホームページにて告知する。

#### 全国大会講演（全国高等学校農場協会と共催）

講演1. 全国大会講演『農業、農学、「農」および文化』 千葉大学名誉教授 古在 豊樹 先生

講演2. 農業教育研究協議会講演「田園オーケストラをつくろうー地域フェスタのオルガナイザー育成」

尚美学園大学理事長 松田 義幸 先生

新規就農対策について

農林水産省経営局就農・女性課長 福田 英明 先生

初等中等教育の課題について

文部科学省初等中等教育局主任視学官 水田 功 先生

#### 支部大会講演（全国高等学校農場協会支部大会と共催）

北海道支部「これからの農業教育の方向性」 国立教育政策研究所教育課程研究センター調査官

田畑 淳一 氏

東北支部「山村の持つ力」

葛巻町長 鈴木 重男 氏

関東支部「わが社の沿革とこれからの農業経営」 グリーンリーフ株式会社 代表取締役 澤浦 彰治 氏  
 北信越支部「アジアの恐竜たち」 福井県立恐竜博物館特別館長 東 洋一 氏  
 近東支部「農業者として生きて」 有限会社ブルーベリーフィールズ紀伊国屋 代表取締役社長 岩田 康子 氏  
 中国支部「農業教育に期待する事～生命総合産業の創出をとおして」 みどりの風協同組合 理事長 坂本 多旦 氏  
 四国支部「洋ランの総合産業化を目指して ～生き残りではなく 生きる道を～」 株式会社 河野 通郎 氏  
 九州支部「地産地消とトレーサビリティ」 道の駅大和 株式会社 そよかぜ館 代表取締役 小野 善隆 氏  
 「植物工場の技術革新の現状と課題」 九州電力総合研究所副主幹研究員 中原 光久 氏  
 「JAのインターネット販売の取り組み」 佐賀県農業協同組合事業部次長 古賀幸太郎 氏  
 「地域資源を活かした食と農の村づくり」 川内野コメCOME倶楽部副代表 幸松 伝司 氏  
 「最先端の測量機器について」 トプコンソキアポジショニングジャパン福岡営業所 エリアマネージャー 村田 武晴 氏

### 全国大会研究発表

「都立専門高校技能スタンダード実施に向けた教員の取り組み」 東京都立農業高等学校 青木 志露和  
 「地域産業に根ざした農業教育」 高知県立高知追手前高等学校吾北分校 森澤 秀樹  
 「長崎県農業系高校マイスター制度について」 長崎県立諫早農業高等学校 木戸 祐一郎

### 支部大会研究発表（全国高等学校農場協会各支部と共催）

北海道支部	北海道の次代を創る新しい農業教育の推進	壮瞥高等学校	鈴木 尚
	〃	剣淵高等学校	藤井 隆史
	〃	帯広農業高等学校	能登 淳子
	〃	旭川農業高等学校	伊藤 利浩
	教科と連動した特色ある農場づくり	大野農業高等学校	石島 崇
	生き生きと取り組める学校農業クラブの指導	別海高等学校	大村 竜二
東北支部	教科指導	岩手県水沢農業高等学校	沼澤 信典
	〃	秋田県大曲農業高等学校	伊藤 寿人
	〃	福島県白河実業高等学校	小野 浩嗣
	農業教育の充実・振興	青森県柏木農業高等学校	中川 伸吾
	〃	宮城県加美農業高等学校	村上 大亮
	〃	山形県新庄神室産業高等学校	阿部 洋子
	生徒の個性を伸ばすキャリア教育の推進	岩手県大船渡東高等学校	谷地 禎彦
	〃	秋田県秋田北鷹高等学校	大坂 淳
	〃	福島県会津農林高等学校	須藤 聖一
関東支部	豊かな人間性を育む農業教育の実践（共通テーマ）		
	地域と連携した学科の取り組みについて	栃木県栃木農業高等学校	塚田 正義
	総合実習での実習カードの活用	千葉県鶴舞桜が丘高等学校	子安 毅
	環境系学科での地域連携事業	埼玉県いづみ高等学校	山崎 友昭
	3年生が取り組む卒業庭園	東京都農芸高等学校	篠島 育雄
	総合学科での専門教育の取り組み	山梨県笛吹高等学校	仲嶋 洋樹
	地域と共に寄り添い歩むこと	茨城県真壁高等学校	小野 力

	動物ふれあい訪問活動プログラム	静岡県静岡農業高等学校	飯田 英毅
	平塚農業の取り組みについて	神奈川県平塚農業高等学校	小澤 清江
北信越支部	農業教育とキャリア教育の課題	長野県上伊那農業高等学校	正澤 好成
	地域連携と農業教育	新潟県加茂農林高等学校	磯田 芳男
	農業と環境の指導と評価	富山県南砺福野高等学校	小橋 政勝
近東支部	科目「農業と環境」の内容と効果的な指導	岐阜県加茂農林高等学校	斉藤 寧子
	〃	三重県伊賀白鳳高等学校	中井 哲也
	〃	和歌山県有田中央高等学校	仲里 長浩
	食品加工系科目の内容と効果的な指導	京都府須知高等学校	湯浅 友喜
	〃	愛知県安城農林高等学校	須江 敏光
	〃	兵庫県農業高等学校	西川 康子
	環境・ヒューマンサービス系科目の内容と効果的指導		
	〃	奈良県御所実業高等学校	吉田 宏
	〃	滋賀県湖南農業高等学校	松井 吾朗
	〃	大阪府貝塚高等学校	坂口 雅彦
	農業教科を生かしたキャリア教育の推進	和歌山県紀北農芸高等学校	坂本 壮
	〃	岐阜県飛騨高山高等学校山田校舎	遠藤 貴史
	〃	三重県久居農林高等学校	辻 泰弘
	地域の活性化につながる農業運営	兵庫県山崎高等学校	今井 洋
	〃		長谷川 昇平
	〃	京都府峰山高等学校弥栄分校	追分 光太
	〃	愛知県新城東高等学校作手校舎	坂田 耕藏
	農業クラブ活動の効果的な指導方法	大阪府農芸高等学校	佐藤 隆
	〃	奈良県五條高等学校賀名生分校	花岡 重之
	〃	滋賀県湖南農業高等学校	有村 和樹
中国支部	食料の安定供給や地域の活性化に向けた知識と実践力を育む農業教育		
	〃	鳥取県鳥取湖陵高等学校	西田 政美
	〃	島根県出雲農林高等学校	黒崎 千春
	地域の環境保全に生きる知識と実践力を育む農業教育		
	〃	広島県沼南高等学校	開地 百花
	〃	岡山県高梁城南高等学校	大山 桂吾
	地域資源を生かした創造的で活力ある農場運営	岡山県勝間田高等学校	山本 武弘
	〃	山口県宇部西高等学校	三浦 精二
			尾上 隆太
四国支部	学習意欲を高める特色ある学校づくりについて	香川県農業経営高等学校	近藤 博樹
	生徒と蒔いたもの	三重県三間高等学校	高木 真浩
	適切な土壌改良と肥料設計確立に向けての研究	高知県高知農業高等学校	小川 雅司
	GAP導入によるコメづくり	徳島県城西高等学校	池田 勝彦
	トマト生産における「とくしま安2GAP」の取り組み		
		徳島県立三好高等学校	西岡 紀博
九州支部	<共通テーマ>21世紀生き抜く力を育み、進化し続ける農業教育の創造		
	レンゲから始まった就農への第一歩	佐賀県高志館高等学校	今江 吉則
	地域から求められる農業高校をめざした循環型農業の展開		
		大分県玖珠農業高等学校	河津 文昭
	農業教育と地域との連携	沖縄県久米島高等学校	徳永 公男
	地域や関係機関との連携による畜産教育の推進	宮崎県小林秀峰高等学校	東 房男

地域に貢献できる農業高校を目指した取り組み 福岡県福岡農業高等学校 諫山 弘基  
 地域・学校の生産物を活用した特色ある商品開発の取り組み

鹿児島県市来農芸高等学校 新川 秀彦

農業土木科における特色ある教育活動 長崎県諫早農業高等学校 西村 健幸

林業科における山・川・海へとつながる環境保全活動

熊本県芦北高等学校 草野 貴光

### 農業教育研究協議会での発表

特色ある企業連携に関する調査

千葉県下総高等学校

渡邊 常隆

環境系学科における魅力ある取り組みの事例に関する調査

埼玉県秩父農工科学高等学校

佐怒賀 淳

## 2) 農業教育功労者表彰及び感謝状の贈呈

平成26年6月17日に農業教育功労者審査会を開催した。この表彰は申請から審査・授与まで農業教育功労者規程に基づき決定された。審査の結果本年度は全国1名の授与者であった。

### 平成25年度農業教育功労者表彰審査結果

支部	申請者数	合格者数	不合格者数
北海道	1	1	0
東北	19	16	3
関東	44	42	2
北信越	9	9	0
近東	32	31	1
中国	11	11	0
四国	11	11	0
九州	22	21	1
合計	149	142	7

#### 審査委員

日置司明 森田恒夫 松戸多良 橋本倉司 風間龍夫 大橋幸男 田原良敏 戸塚厚生

太田和也 鈴木隆 松沢利充 久保田弘 田中平一

#### 表彰

本会規定により平成26年度支部大会で表彰した。

## 3) 農業教育・環境教育に関するシンポジウムの開催（共催）をする事業

### ○第2回農業女子フォーラム（主催）

平成26年8月6日 大阪府高槻市 JT生命誌研究館

基調講演 生命誌と農業高校へのメッセージ（JT生命誌研究館 館長 中村桂子）

講演 農村生活と子育て（02ファーム 大津愛梨） 食べ物を自ら作る（丹羽農園 丹羽なほ子）

農業高校生へ（アグリフューチャージャパン 岡部由美子）

コーディネーター 徳山郁夫（千葉大学名誉教授） 沼尾ひろ子（フリーアナウンサー）

ディスカッション 講演者に大阪の女子農業高校生3名を加えた討論

### ○武蔵野里山イニシアティブ「持続可能社会の構築」（共催）

平成26年10月26日 埼玉県立川越総合高等学校

講演 SATOYAMAイニシアティブの国際展開（国連大学事務局次長 鈴木 渉）

三富新田の今日的価値（三芳町長 林 伊佐雄）

武蔵野里山の再生に向けて（石坂産業KK社長 石坂典子）

三富農業体験と意見発表（川越総合高校FFJ 森田紗月）

合唱組曲「宮沢賢治の風景」（作曲家 坂田晃一）

コーディネーター 徳山 郁夫 (千葉大学名誉教授) 犬塚潤一郎 (実践女子大学教授)  
ディスカッション さらに土壌微生物や再生エネルギーを加えた討論を展開  
まとめ 古在豊樹 (千葉大学名誉教授)

○環境と健康を考えるパネルディスカッション～生き物から学ぶ環境と健康

平成26年11月30日 千葉県柏市 東京大学フューチャーセンター

パネルディスカッション

講師 佐々木 正己 (玉川大学名誉教授) 古在 豊樹 (千葉大学名誉教授)  
尾田 正二 (東京大学准教授) 横山 和成 (農研機構上席研究員)  
司会 徳山 郁夫 (千葉大学名誉教授)

#### 4) 学術及び科学技術の推進を目的とする事業

##### 実験実習講習会及び教員免許状更新講習 (講習詳細は別添資料①)

全国6地区で実施した。受講者は142名、この内、教員免許状更新講習対象者は96名であった。

○講習会概要と受講生数

- ・北海道地区「作物・食品製造」 帯広畜産大学 平成26年8月4日～8日 29名  
講師 三浦 秀穂 (教授) 小田 有二 (副学長) 山内宏昭 (教授)  
平田 昌弘 (准教授) 大西 一光 (准教授) 折笠 善丈 (助教)  
川上 秋桜 (助教)
- ・東北地区「微生物利用」 秋田県立大学 平成26年7月28日～8月1日 31名  
講師 福島 淳 (教授) 中沢 伸重 (教授) 佐藤 孝 (准教授) 藤 晋一 (准教授)  
志村洋一郎 (助教) 伊藤俊彦 (助教)
- ・関東地区「農業と環境」 静岡大学農学部 平成26年8月18日～22日 20名  
講師 瀧川 雄一 (教授) 大野 始 (教授) 西東 力 (教授) 森田 明雄 (教授)  
本橋令子 (教授) 岩切祥和 (准教授) 平田久笑 (准教授) 一家 崇志 (助教)  
中塚貴司 (助教)
- ・北信越地区「農業と環境」 福井県立大学 平成26年8月4日～8日 17名  
講師 岩崎行玄 (教授) 吉岡俊人 (教授) 高橋正和 (准教授) 三浦孝太郎 (講師)  
水口亜樹 (講師) 富田桂 (福井県農試) 小林麻子 (福井県農試) 小林恭一 (福井県食加研)  
杉本雅俊 (福井県食加研)
- ・近東地区「農業と環境」 和歌山大学システム工学部・経済学部・観光学部  
平成26年8月18日～22日 16名  
講師 養父 志乃夫 (教授) 中島敦司 (教授) 谷口正伸 (助教) 大西敏夫 (教授) 藤田武弘 (教授)  
南山 泰宏 (教授)
- ・四国地区「農業と環境」 香川大学農学部 平成26年8月4日～8日 12名  
講師 佐藤正資 (教授) 京 正晴 (教授) 亀山 宏 (准教授) 諸隈 正裕 (准教授) 田中直孝 (准教授)  
田淵 光昭 (准教授)
- ・九州地区「農業と環境」 東海大学 平成26年8月19日～23日 17名  
講師 星 良和 (教授) 村田浩平 (准教授) 仁木隆博 (教授) プラダン ラジブ (准教授)  
山下秀次 (教授) 井越敬司 (教授) 多賀直彦 (講師)  
大和 陽一 (グループリーダー)

教員免許更新講習は更新に必要な30時間の内、選択領域の18時間分が文部科学省から認定されている。  
今年度、農業教諭以外からは家庭科教諭の参加が若干名あった。

## 5) 調査研究

本財団研究局では6つの教育課程専門部会（植物系部会・動物系部会・食品系部会・環境系部会・流通・経営部会・ヒューマンサービス系部会）を設け農業教育に関する調査研究を継続的に行っており、現場での農業教育実践に生かされている。また、農業高校の特色ある取り組み・大学推薦入学の調査も行っている。これらの結果は農業教育研究協議会及び研究集録、ホームページで公開している。

平成26年度の報告（食品系部会・環境系部会は農業教育研究会で発表している。）

（農業教育研究協議会の項参照）

- ・教育課程に関する調査・農業と環境について
- ・農業系高校での特色ある取り組みについて
- ・大学推薦入試に関する調査

## 6) 花育読本の作成

小中学での総合的学習の時間また技術家庭科の生物育成に関するサブ教材として花育読本の作成に協力した。主体は全国花育活動推進協議会であり、農水省補助事業指定を受けて約10000部の冊子を作成、全国の学校へ無料で配布した。

## 7) 地域文化（文化・芸術・文芸）振興に関する事業

### 全国農業関係高等学校エッセイコンテストの実施

日本農民文学会との共催によるエッセイコンテストを実施した。今年で6回を数える。全国の農業系高校より18作品（今年度より校内選考を経由しての応募）の応募があり厳正な審査の結果、以下の様に入賞者が決定した。入賞者には賞状・賞品を授与した。

平成26年度最優秀賞 「と畜への自分の想い」 北海道中標津農業高等学校 立花 恵理

優秀賞 「養豚の地域ブランド化を目指して」 群馬県立利根実業高等学校 高橋 涼太

「大好きなおばあちゃん」 静岡県立下田高等学校南伊豆分校 山田 翔

「高校生活で見つけた醸造の楽しさと将来の夢」 愛知県立半田農業高等学校 竹内 大登

「迷いと決断」 京都府立綾部高等学校東分校 植田 美乃里

「ふるさとの自然を次世代に伝えるために」 熊本県立鹿本農業高等学校 飯田 百香

なお、審査会を平成27年1月15日に、1月22日にホームページで発表した。

審査委員は次の様である。

野中 進（日本農民文学会会長）

日置 司明（公益財団法人全国学校農場協会理事長） 大木 高之（全国高等学校農場協会会長）

田中 平一（公益財団法人全国学校農場協会事務局次長）

## 里山芸術祭の開催

### ○里山讃歌音楽祭KAWAGOE2014（後援）

平成26年12月25日 川越市・市民会館

3回目を迎えた里山讃歌音楽祭は、川越市内の農業系高校である埼玉県立川越総合高等学校と音楽系大学である尚美学園大学が「農と音楽」の交流の成果を発表するために始まった演奏会である。音楽を通して多くの方に武蔵野里山の魅力と大切さを伝える機会ともなっている。

プログラム

ドップラー作曲 「ハンガリー田園幻想曲」フルート独奏 山形由美

坂田 晃一作曲 合唱組曲「賢治の風景」

ベートーベン作曲 交響曲第9番「合唱付き」から第4楽章

指揮

坂田 晃一（作曲家）

## 8) 広報活動

本財団の広報活動は新聞・ホームページによる。

### 公益財団法人全国学校農場協会新聞の発行

季刊とし、年四回の発行。会員に郵送している。主に本財団の事業についての予定及び報告が中心である。

### ホームページ

本財団の事業・会計内容を含む財団の概要を掲載するとともに会員及び一般の方に対して農業教育に関する研究成果の公表、研究会・シンポジウム等の告知、協力他団体との情報公開などに努めている。

## III 公益財団法人理事会・評議員会の開催状況

### 1) 理事会

平成26年5月16日	農場協会会館	平成25年度事業報告・収支決算書（承認） 連絡事項
平成26年8月28日	農場協会会館	事業の進捗状況（報告） 農業教育功労者表彰（承認） 第6回エッセイコンテストについて（承認） 連絡事項 農業関連高校フォトコンテストについて（承認）（棚田学会共催）
平成26年11月20日	農場協会会館	フォーラム・シンポジウムの開催について（報告） 農業教育研究協議会の講師の選任 松田義幸氏（承認） 農業教育研究集録の編集方法（承認） 連絡事項 農場協会会館「空間確保工事」の完了報告（地震対策） 農業実習助手の単位認定講座への協力（実施・東京農業大学）
平成27年3月7日	農場協会会館	平成26年度事業の報告（実験実習講習会 他） 平成27年度事業計画について（承認） 平成27年度収支予算書について（承認） 会議室使用規定の改定について（承認） 農業功労者表彰規定の改正（承認）

### 2) 評議員会

平成26年6月13日	農場協会会館	平成25年度事業報告、決算書について審議し承認された。 平成26年度事業計画書、予算書について審議し承認された。 連絡事項
------------	--------	---

3) 監査会（26年5月16日、8月28日、11月20日、27年3月7日に実施、理事会で事業・予算について監査報告）

## IV 収益事業

### 1. 家賃収入事業

本財団は1階部分に2店舗を所有しており、其々の事業主に賃貸した。